

新大関



「栃ノ心関」

特別インタビュー



平成三十年の初場所優勝から怒涛の快進撃。

先の五月場所でも最後の最後まで優勝戦線を盛り上げ、惜しくも優勝は逃しましたが

見事に大関昇進を果たした栃ノ心関。

ジョージア出身、怪力、イケメンの人気者。

実は春日井市とはつながりの深い方だったのです。

そんな新大関に、今の心境、故郷のこと、

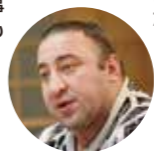
子供の頃のこと、そして春日井のことなど、

他では聞けない話を聞いてきました。

平成三十年六月一日、東京・両国、春日野部屋。大関昇進の伝達を受けて間もないこの日、多忙の中の新大関・栃ノ心関にお会いし、お話を伺いました。

初場所の優勝から三場所連続で勝ち越し。そしてその勢いそのまま大関昇進。今日日本で話題沸騰中です。今の心境はいかがですか？

栃ノ心 正直、ちょっと疲れてますね(笑)。五月場所が終わってからは毎日テレビや新聞とかの取材が続いて、その上、お世話になった方々との会食などお付き合いもありますから。電話もずっと掛かってきています。返事も返せないくらいの数のメッセージももらって、本当にありがたいですけど、大変ですね。日本でもすごいです。ちょうど五月場所からテレビでライブの中継が始まったみたいで。今まで相撲のことを知らなかった人たちも、好きになってくれるみたいだし、私のことを応援してくれる人も増えましたね。



昨日もジョージアの政府から連絡



がありまして、近々帰国する予定なのですが、ジョージアの大統領や総理大臣などと面会の予定が入りました。とても光栄なことですが、せっかく帰っても今回はゆっくり出来そうもないですね。

子供の頃は、遊びも勉強もスポーツも、すべてに全力。そして、大きな夢を目指し、柔道に励んだ日々。

栃ノ心 私の母国のジョージアという国は東ヨーロッパに位置して、日本ではちょっと前まで「ブルリア」と呼ばれていた国でした。少し前に冬季オリンピックが開催された「ソチ」に近いところですね。もともとソビエト連邦の構成国の一つでしたが、1991年に正式に独立しました。農業が中心の国なのですが、中でも私の出身の町はとて田舎ですね。実家はワイン農家をやっている家。家の裏が山で、前に大きな川が流れていて、その向こうにも大きい石山があって。前の川は「MTKVARI」という名前の川で、雪解けの水で水量が多くなるジョージアで一番大きな川です。そこでよく遊んでいましたね。今思えばあんまりキレイじゃなかったですけど(笑)。

遊んだ思い出もたくさんありますが、勉強もよくしていました。勉強



歩いてみたいですね！
相撲経験が無く参加した世界選手権。それを機に、日本で相撲の道へ。

栃ノ心 2005年、アマチュア相撲の世界選手権が日本でありました。当時、私はジョージアで柔道の選手だったのですが、ジョージアには相撲の組織が無かったらしく、国の柔道やサンボ、レスリングの選手の中から特に体の大きな人に声が掛けられました。私も誘われました。17歳だったのですが、その頃で100キロ以上体重がありましたから。日本に行ってみたらこういうのもあったので世界選手権の話も「いいですよ」と受けました。日本の相撲というのは知ってはいたのですが、やったことはなかったですし、まわりの締め方も知りませんでした。裸も恥ずかしいですからね(笑)。最

初はホント恥ずかしかったですよ。

結局大会でいい成績を収めることができて、そのおかげでいろいろなご縁がありまして、私自身もプロ入りしたい気持ちが強かったので、春日野部屋への入門を決めました。「栃ノ心」というのは親方につけていただいた四股名です。心という字には、日本人の心を持って、という思いが込められています。「ノ」が片仮名なのは春日野部屋の先代の親方で、春日野部屋では最後の関取でもある「栃ノ海」と同じです。偶然ですけどね。

ジョージアを離れて、最初は慣れない環境で、特に日本語には苦労しました。今でこそ何とかしゃべれますけど、始めの頃は全然わかりませんでしたね。相撲の稽古も部屋での練習はとも厳しいですが、それはそこまで問題じゃなかったですね。



よく言われる食事の問題も私は全然平気でした。日本ではおかずにもちゃんこにも砂糖を入れるじゃないですか。なので、ジョージアの料理に比べて少し甘いかなあと感じますが、今はもう慣れましたし、苦労は感じないですね。

大相撲七月場所が開催される名古屋や、春日野部屋の宿舎でもある春日井市の印象は？

栃ノ心 暑いですね(笑)。私、名古屋や春日井は好きですよ、良い所で、人も明るいんですね。食事もなんでも美味しいです。特にうなぎが一番好きですね、ひつまぶしも好きで、いくらでも食べられます。あとは宿舎の近くとかでもふらっと入った居酒屋さんとかイタリアンのお店とかがすごく美味しくて、場所中もよく通ったりしていましたよ。

名古屋場所は相性がいいの成績も良く、去年の名古屋場所は9番勝っています。今回、大関に昇進して最初の場所なので、まずは二ケタ、



10番が目標ですかね。まだケガもあるのでちゃんと治してから体を作って、しっかりやりたいです。

おかげさまで今年は初場所の優勝から調子がよく、いい流れでここまで来ています。きつと、年明けから身を入れて稽古に取り組みることができて、それがいい結果につながっているのだと思います。

自分の相撲の生命線はまわしを掴むところで、掴めたらほとんど負けないと思っています。それが特に今年はいいところが掴めていると思います。ただあんまり力むと古傷の膝とかが心配なので、注意してやりたと思っています。

春日井の子供たちにメッセージをお願いします。

栃ノ心 お父さん・お母さんの言うことをちゃんと聞いて、いい子で自分の目指す目標に向かってコツコツ進んで欲しいですね。みんなと名古屋場所や10月の春日井巡業で会えるのを楽しみにしています！

▼栃ノ心 大関昇進



▼白鵬を寄り切り大関を決めた



伊藤太 春日井市長のコメント



大関昇進、誠におめでとうございます。歴史のある春日野部屋から大関が誕生したことは、名古屋場所の宿舎がある春日井市として、とても誇らしい気持ちです。これからも稽古に精進し大関の力強い相撲に、さらに磨きをかけ、もうひとつ上の横綱を目指してこれからも頑張ってください、応援しています。

